

株主の皆さまへ

2022年3月期(第122期)

バルカーレポート

2021年4月1日 ▶▶ 2022年3月31日

Value & Quality

基本理念

Value
&
Quality

(価値の創造と品質の向上)

4つの
経営理念

- ・ 社会の発展のために
- ・ 正々堂々と
- ・ 世界中のステークホルダーへ
- ・ 独創的技術で

行動指針
10項

- 1 事業を通じた社会への貢献
- 2 顧客感動の提供
- 3 人格と個性の尊重
- 4 株主との信頼関係の構築
- 5 地域社会との共生
- 6 安全衛生は全てに優先
- 7 コンプライアンス遵守と誠実な行動
- 8 環境にやさしいモノづくり
- 9 資産の保全と有効活用
- 10 チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり

Value & Quality

価値の創造と品質の向上

ごあいさつ

株主の皆さまに2022年3月期（第122期）バルカーレポートをお届けします。

当期のグローバル経済は、新型コロナウイルス感染症に加え、原材料価格の上昇及び半導体などのモノ不足並びにロシアによるウクライナ侵攻など、マイナスに働く多くの要素にさらされました。

このような事業環境下バルカーは、当期を2年目としていた3か年中期経営計画“New Frontier 2022”（NF2022）で掲げた戦略に沿って業績の拡大と攻守両面の構造改革に取り組み、その結果、当期の連結売上高及び各利益を過去最高の実績にするとともに、営業利益等はNF2022における計画目標を1期前倒しで達成することができました。

2023年3月期（第123期）は非常に厳しい事業環境になることも考えられますが、バルカーは新たな中期経営計画“New Frontier 2023”（NF2023）で掲げた基本方針、

『激変する世界情勢の中、「THE VALQUA WAY」

のもと顧客の信頼に応え、

H (Hard) & S (Service) の両輪で新たな価値を

創造し続ける企業を目指そう』

のもと、“成長を守る”ための投資とDXによる企業・事業の改革により、“新たな価値創造力の獲得”と“基礎的収益力の強化”を図り、株主の皆さまの期待と信頼に応えてまいります。



2022年6月

シール製品事業

売上高 **34,995** 百万円

売上高
構成比 **65.8** %



事業概況

シール製品事業は、半導体製造装置・デバイスなど先端産業市場向けの拡大と自動車など機器市場向けの回復により、売上高は349億9千5百万円（前期比11.6%増）、セグメント利益は55億6百万円（同32.3%増）となりました。

今後の展開

バルカーグループの主力事業として、先端産業市場における業容を拡大するとともに、機器市場やプラント市場向けを含めてDXによる新たな顧客価値を提供し、収益力の向上を図ってまいります。

機能樹脂製品事業

売上高 **15,088** 百万円

売上高
構成比 **28.4** %



事業概況

機能樹脂製品事業は、半導体製造装置・デバイスなど先端産業市場向けと高機能化学品プラントなどプラント市場向けの需要が大きく回復したことにより、売上高は150億8千8百万円（前期比40.5%増）となり、販売及び生産数量の増加並びに事業構造改革の効果によりセグメント利益は13億7千2百万円（前期はセグメント損失5億8千8百万円）となりました。

今後の展開

先端産業市場及びプラント市場向け戦略製品を軸にグローバルシェアの拡大とそれを支えるサプライチェーンの整備を進めるとともに、事業構造改革を推進し、収益力の向上を図ってまいります。

事業概況

シリコンウエハーリサイクル事業他は、新規事業分野を含むH&S事業の販売が停滞する一方で、主力事業であるシリコンウエハーリサイクル事業の業績は期を通じて安定的に推移し、さらに第4四半期における特殊案件の計上もあり、売上高は30億8千2百万円（前期比17.4%増）、セグメント利益は9千3百万円（前期はセグメント損失9千6百万円）となりました。

今後の展開

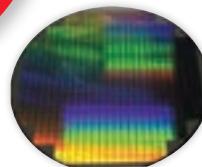
シリコンウエハーリサイクル事業における品質の向上を通じた収益力の強化に加え、H (Hard) & S (Service) 事業の業績化を速やかに図り、新たな価値創造を具現化してまいります。

連結売上高
53,167
百万円

シリコンウエハーリサイクル事業他

売上高 **3,082** 百万円

売上高
構成比 **5.8** %



Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

連結損益計算書

単位：百万円

科目	前期	当期
	自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日	自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日
売上高	44,717	53,167
売上原価	27,199	31,667
売上総利益	17,517	21,499
販売費及び一般管理費	14,041	14,526
営業利益	3,475	6,972
経常利益	3,673	7,193
税金等調整前当期純利益	4,506	7,122
当期純利益	3,150	5,037
親会社株主に帰属する当期純利益	3,090	4,841

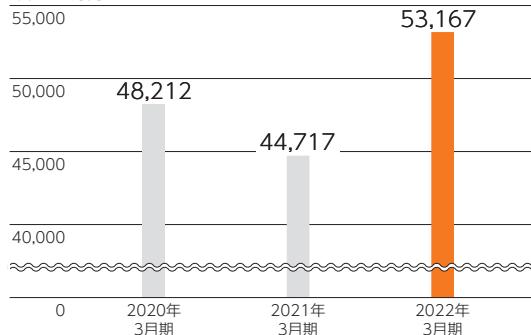
連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末	当期末
	2021年3月31日	2022年3月31日
資産の部		
流動資産	29,698	34,935
固定資産	22,993	25,264
資産合計	52,691	60,200
負債の部		
流動負債	10,764	13,336
固定負債	4,653	5,883
負債合計	15,417	19,220
純資産の部		
株主資本	34,335	37,545
その他の包括利益累計額	1,311	2,183
非支配株主持分	1,627	1,250
純資産合計	37,274	40,979
負債純資産合計	52,691	60,200

売上高

単位：百万円



営業利益 / 営業利益率

単位：百万円

単位：%



配当

	中間	期末	年間配当
2020年3月期	50.0 円	50.0 円	100.0 円
2021年3月期	45.0 円	50.0 円	95.0 円
2022年3月期	50.0 円	75.0 円	125.0 円

新たな価値創造に向けた“攻めと守り”のDX

— DXを使ったサービスによる進化 —

バルカーでは、創業100周年となる2027年3月期における理想のバルカー像の具現化に向けて、DX（デジタル・トランスフォーメーション）と事業改革を推進しています。その中のデジタル化の取り組みについてご紹介します。

①モノ売りの強化のためのデジタル活用

当社ではお客さまに製品をご提供するために、営業活動、要件ヒアリング、製造などの過程で複数の担当者を経由し、多大な業務工数が発生していました。その結果、製品を提供するお客さまの数も限られることになり、売上機会を損失することが問題でした。

そこで製造以外にかかる人的・時間的コストを限界まで下げ、より多くのお客さまのお問い合わせに対応できるように、製品の販売・提供を一元化するWebプラットフォーム「素材Pro」を開発し、運用を開始しました。これにより、お客さまが商品を探す際、システムで製品の検索や受発注、簡易見積、納期目安などを自動的に提案することができます。

現在は機能樹脂製品を対象としていますが、今後はこのサービスをデジタルでの図面の解読や見積もり作業など複雑な工程もスピーディーに対応できるように発展させ、シール材などそのほかの製品に拡大します。



製品の販売・提供を一元化する「素材Pro」

②AIを中心としたITソリューションの事業化

バルカーのシール製品は、あらゆる液体・気体の漏れを防ぎ、お客さまの工場・設備の安心安全を守り続けて厚い信頼を得てきました。

しかし近年、バルカーにはそのような“モノ”以外に、“コト”への要望が寄せられるようになりました。それを受けバルカーは、2021年12月にAI・機械学習を駆使した新事業の創出に向け、それらに深い知見とノウハウを持つ株式会社リッジアイと資本業務提携を締結しました。

その成果の第一歩目として設備の遠隔監視プラットフォーム「スマート設備管理」の提供を開始しま



設備の遠隔監視を実現する「スマート設備管理」

す。ポンプやシリンダー等の各種設備の異常を検知するなど予知保全に特化しており、複数の設備を一つの画面で同時に管理できるため、少ない人数で対応が可能になります。

今後は自社開発したソリューションに留まらず、積極的に外部サービスとの連携を進め、お客さまの安心安全を広く支えるソリューションに進化します。

③デジタルデータの活用

バルカーのDXに向けた取り組みが前進しているなか、今後より重要になるのはお客さまの声を吸い上げた使い勝手の改善と機能の強化です。それに向けて、昨年よりデジタル開発チームを組織化し、専門性の高いスタッフを集め、スピーディーに対応できる体制を整備しています。

また、今期中にバルカーグループの基幹システムは、海外も含めて全て入れ替えを完了する予定であり、セキュリティや利便性も格段に向上します。

さらに、基幹システムから取得した経営データを、様々な切り口からすぐに取り出し、あらゆる社員に活用できる形に整えることも計画しています。一例として、朝業務を開始した時に、PC画面上に自分の欲しいデータがすぐに表示され、即座の意思決定を可能とすることで、経営判断のスピード化に貢献します。

バルカーでは、ソリューションの拡大と社内のデジタル化の浸透を推進するとともに、モノづくり企業からソリューション企業へと進化します。

会社の概況 (2022年3月31日現在)

社名	株式会社バルカー (英文表記 VALQUA, LTD.)
創業	1927年1月21日
設立	1932年4月8日
資本金	13,957百万円
発行済株式総数	18,688,733株
株主総数	30,691名
従業員数	410名 (連結 1,772名)

役員 (2022年6月22日現在)

取締役

代表取締役会長 CEO	瀧澤 利一
代表取締役社長 COO	本坊 吉博
取締役 専務執行役員 CTO兼CQO	青木 睦郎
取締役 専務執行役員 CD	中澤 剛太
取締役(社外)	関 忠行
取締役(社外)	関根 近子
取締役(社外)	齋藤 三希子

監査役

常勤監査役	高 昭夫
監査役(社外)	八戸 孝彦
監査役(社外)	高橋 秀夫

CEO: 最高経営責任者
COO: 最高執行責任者
CTO: 最高技術責任者
CQO: 最高品質責任者
CDO: 最高デジタル責任者
CCO: 最高コンプライアンス責任者

執行役員

専務執行役員	小林 健一
専務執行役員	櫻井 慎也
常務執行役員	森田 信利
常務執行役員	椿山 善昭
常務執行役員	瀧澤 利治
常務執行役員 CCO	小川 禎 谷田部 麻美子
常務執行役員	植木 聡
常務執行役員	神田 大輔
執行役員	立田 寛
執行役員	野邊 淳嗣
執行役員	伏屋 克俊
執行役員	今井 将廣
執行役員	後藤 智子
執行役員	門脇 貞幸

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人
および特別口座
口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所
(郵便物送付先)
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(ホームページ) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告方法
電子公告
<https://www.valqua.co.jp/ir/koukoku.html>
ただし、事故その他やむを得ない事由により
電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場



〒141-6024
東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower24階
TEL: 03-5434-7370 FAX: 03-5436-0560
URL: <https://www.valqua.co.jp/>



※ この報告書は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。